

■効果の見える治水事業
徳島県 「政友地すべり対策事業」

徳島県西部総合県民局

県土整備部部长 瀬尾 守



徳島県西部総合県民局が管轄する県西部の2市2町は、そのほとんどが急峻な山間部で、特に中央構造線の南側は、全国有数の地すべり地帯であり、「善徳地区」をはじめ、県下の地すべり防止区域の5割以上が集中しております。

当箇所は、三好市山城町に位置する「政友地すべり防止区域」で、人家53戸や国道400m、市道4,520m、さらに避難所となっている恵泉館などがあります。

区域内では、地盤の変動による民家の損傷、道路擁壁の亀裂、石積みの押し出しなど、地すべり兆候が顕著に現れ、地すべりの危険性が高まったため、平成17年度から地すべり対策事業による整備に着手しております。

本事業では、地下水を排除する横ボーリング工や雨水の浸透を防止する水路工など、地すべりを抑制する対策工を実施し、これまでにA、C、Eの3ブロックが概成しており、残るDブロックが今年度をもって概成いたしました。

近年は、ゲリラ豪雨などによって、全国各地で甚大な土砂災害が頻発しており、社会的にも防災意識が一層高まっていることから、今後とも、地すべり等の土砂災害から住民の生命、財産を守るため、土砂災害対策にしっかりと取り組んで参ります。

【事業概要】

- ・事業名 地すべり対策事業
- ・事業費 290,000千円
- ・事業期間 平成17年度～平成25年度
- ・整備内容 4ブロック
排水ボーリング工 N=103本(ΣL=5,925m)、水路工 L=693m

全景写真



対策状況



位置図



避難所



変状状況



市民が安全・安心な生活が送れるまちづくり

三好市長 黒川 征一



三好市は、平成18年3月、三野町、池田町、山城町、井川町、西祖谷山村、東祖谷山村の6町村が合併し、721.48平方キロメートルという四国一広大な面積を有する自治体として誕生しました。四国のほぼ中央に位置し、大部分は丘陵ならびに山地で占められ、可住地面積は13%と低く、ほとんどが急峻な山地で占められています。

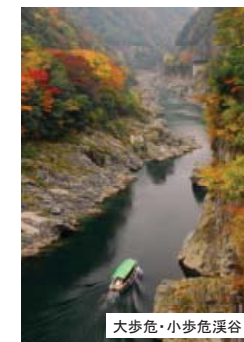
中でも、四国の中央部を東西に貫く四国山地は、西日本第二の高峰、剣山や三嶺、等の高山があり、その他黒沢湿原、塩塚高原など自然豊かな地域であります。また、「大歩危・小歩危渓谷」「落合重要伝統的建造物群保存地区」等、天然記念物や伝説の宝庫でございます。

このような地理的条件から、市内には多くの地すべり防止区域が存在します。

当箇所は、三好市山城町政友地区内にあり、政友地区は、銅山川流域に位置し、斜面に民家が点在し、古くから八朔や栗の栽培が盛んで、政友小学校を中心とし、銅山川の環境改善に古くから取り組むなど、地域活動の活発な地域でございます。

しかしながら、銅山川による浸食の影響により、地すべりの兆候が顕著になり、地域住民は、これまで不安を抱えながら生活を送ってまいりましたが、平成16年度から平成24年度において、徳島県により、同地区の地すべり調査、対策工事に取り組んでいただきました。おかげをもちまして、平成25年度に、調査地区全区域において、地すべり活動の沈静化が確認され、地域住民も今後、安心して生産活動に励み、また、一層コミュニティの醸成を図ることができ、地域の活性化が促進されるものと期待するものでございます。

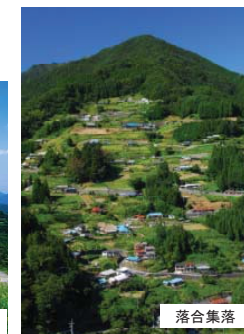
最後になりましたが、事業の推進にあたり、ご尽力いただきました各関係機関の皆様方にお礼申し上げますと共に、今後とも市民が安心、安全に生活が送れるよう引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。



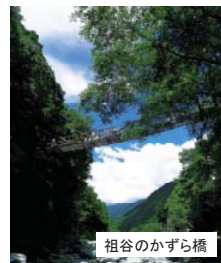
大歩危・小歩危渓谷



黒沢湿原



落合集落



祖谷のかずら橋



塩塚高原